

観点別特色一覧



観点	特色：●／具体例：➡
▶ 学習指導要領に示す事項を適切に取り上げているか。	● 学習指導要領に示されている方針、目標、内容、内容の取扱いに基づいて、適切に内容を取り上げている。
▶ 学習（指導）内容の系統性に対応しているか。	● 系統性を重視して内容を編成することはもちろん、各章の扉で小学校、中学校、高校の学習内容を見通すことができるようにし、小中連携や小中及び中高一貫教育につなげやすくしている。 ➡ p.14, 26, 42, 72, 84, 106, 136, 150, 168 ● 心と体を一体として捉える観点を重視して、体育分野と保健分野の関連を図っている。
▶ 運動領域や各教科などとの関連やカリキュラム・マネジメントの実現について、配慮がなされているか。	● 随所に「関連」を設け、運動領域との関連を図るように取り上げている。また、各教科などとの関連についても同様に付し、関連を図って学習を進められるように配慮している。 関連 ➡ p.15, 19, 23, 30, 31, 50, 74, 79, 81, 90, 109, 127, 170, 179, 181, 183 ● 体育実技や各教科などの関わりをまとめた「キーワードで見る保健体育の学習内容」を設け、知識や情報を関連させながら、教科等横断的に深く学ぶことができるよう工夫している。➡ p.190～191
▶ 学習（指導）内容の明確化に対応しているか。	● 各章に扉を設け、学習内容の全体像を明示している。 ● 各項目の冒頭に「学習の目標」、「キーワード」を設け、学習課題を明示している。 ● 本文中では、代表的な重要語句を太字で示している。 学習の目標 キーワード
▶ 知識及び技能を実践的に習得・活用する学習活動を取り入れているか。	● 全ての項目に、「まとめる・深める」または「実習」を設け、その時間で習得した知識をまとめたり、深めたり、活用したりする学習活動ができるようにしている。 ● ストレス対処や心肺蘇生法などの身に付けるべき技能にはマークを付し、イラストや写真を多く掲載し、わかりやすく取り組みやすいよう工夫している。 ● 各章の「章のまとめ」で、「生かそう」、「生活への活用」を設けている。 ➡ p.25, 41, 69, 83, 105, 133, 149, 167, 187 まとめる・深める 実習 技能
▶ 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができるような配慮がなされているか。	● 各項目は、主体的・対話的で深い学びが実現しやすいように「学習の目標」（学習課題の明示）→「課題をつかむ」（導入課題）→「考える・調べる」（学習活動）→本文（学習内容の確認）→「まとめる・深める」（まとめ・活用）といった流れの基本で成り立っている。またこれらは、思考・判断・表現の活動となるように工夫している。 ● 各項目に「見方・考え方」を設け、保健体育の見方・考え方を働かせて思考・判断し、身に付けながら、学習を進めることができるようにしている。 見方 考え方
▶ 主体的、協働的に活動する態度が育成されるような配慮がなされているか。	● 教え合う、学び合う活動には「協働」のマークを示し、主体的・対話的かつ協働的に活動する学習活動が生まれるようにしている。 ➡ p.19, 21, 29, 35, 57, 63, 75, 100, 101, 111, 113, 123, 124, 128, 142, 143, 159, 171 協働 ● 「まとめる・深める」では、身に付けた知識をもとに、自他の課題を見つけ、その解決に向けて思考・判断・表現する力を養うことができるようにしている。
▶ 特別の教科 道徳などとの関連を考慮しながら適切な指導ができるような配慮がなされているか。	● 自分自身に関すること、人との関わりに関すること、集団や社会との関わりに関すること、生命や自然、崇高なものとの関わりに関することなど、学習指導要領に示された道徳の内容について、保健体育科の学習全体を通して関連を図ることができるようにしている。また、p.190～191 で関連を示している。

観点	特色：●／具体例：➡
学習指導要領との関連	▶ 体力向上に結び付くような配慮がなされているか。 ● 思春期の発育・発達 (p.44～45) や体力の必要性 (災害から身を守る力) (p.80), 生活習慣病との関連 (p.86～91) などを取り上げ, 体力や運動習慣の必要性に気づかせるとともに, 体力測定の結果を活用した体力の高め方 (p.194) についても示している。
	▶ 生徒の言語活動の充実が図られているか。 ● 話し合う, 記述する, 表現するなど, コミュニケーション能力や論理的な思考力の育成を促すための言語活動を随所に設けている。 ● 主に言語活動を含む学習内容には, 「言語」のマークを付している。  ➡ p.17, 19, 29, 37, 47, 55, 57, 58, 59, 77, 79, 91, 93, 95, 97, 99, 100, 101, 113, 159, 177
	▶ 体験的な学習や, 基礎的・基本的な知識や技能を活用した課題解決的な学習が重視されているか。 ● 随所に実習などを取り入れている。特に, 口絵6「行って, 見て, 学ぼう」では, 地域や家庭との連携を図っている (p.8～9)。 ● 各項目の最後の「まとめる・深める」では, 課題解決的な学習を多く取り入れている。
	▶ 個に応じた指導の充実ができるような配慮がなされているか。 ● 各章末に「探究しようよ!」を設けて, 学習内容に関連が深い課題を示し, 習熟度に応じて指導できるよう工夫している。 
	▶ キャリア教育につながるような学習活動の充実が図られているか。 ● 口絵でのスポーツ・健康・安全の分野で活躍する人物の紹介 (p.2～3) や, 各項目で内容に関係する職業や資格を「JOB」として紹介することなどで, キャリアについて考えることができるようにしている。 
範囲・選択・扱い	▶ コンピュータやインターネットを活用した情報活用能力の育成に配慮がなされているか。 ● 学習活動におけるコンピュータ (ICT 機器) の活用について, 実例の写真とともに取り上げている。➡ p.73, 77, 78, 171 ● 各章の扉の「保健体育と情報」では, コンピュータなどの機器を通じて得られる保健体育と関わりのある情報の例を紹介している。 ➡ p.15, 27, 43, 73, 85, 107, 137, 151, 169 ● 調べ学習などに有用なウェブサイトなどを随所で紹介し, その箇所にはリンクマークをつけている。  ➡ p.24, 33, 38, 39, 64, 86, 88, 90, 92, 99, 104, 112, 131, 140, 145, 148, 153, 159, 160, 162, 164, 166, 184 ● 「教科書サイト」を設け, 紙面の二次元 (QR) コードを使用し, 関連する動画などを活用して, より広く, 深く学習を進められるようにしている。 
	▶ 生徒が学習したことを振り返ることができるような配慮がなされているか。 ● 各章末に「章のまとめ」を設け, 重要語句の確認, 基礎的・基本的な知識の習得とその活用ができるようにし, これらを通して自己評価をすることができるようにしている。
	▶ 生徒の興味・関心や, 学校や地域の実態に応じた指導ができるような配慮がなされているか。 ● 各章末に「探究しようよ!」を設け, 学習内容に関係が深く, 興味を持ちやすい課題を取り上げている。 ➡ スポーツを見る／スポーツを支える活動 (p.22), スポーツを知る (p.23), アダプテッド・スポーツ／スポーツを「つくる」 (p.24), アレルギー (p.38), 適正体重を知ろう／脳死と臓器移植 (p.39), 生活に運動を取り入れる／睡眠を見直そう (p.40), 自分の気持ち・相手の気持ち-特定の相手との交際-／ストレス (p.66), コミュニケーション (p.67), 体力の必要性 災害から生命を守る (p.80), メンタルトレーニング／けがとスポーツ活動の計画 (p.81), けがの応急手当と再発防止 (p.82), がんの治療 (p.102), がんと共に生きる, がん患者と共に生きる (p.103), ドーピング／インターネットと健康 (p.104), 自転車の安全な利用／インターネットを通じた犯罪被害の防止 (p.130), 津波／急な大雨や雷・竜巻から身を守るために (p.131), オリンピック・パラリンピック (p.144～145), 日本とオリンピック・パラリンピック (p.146～147), 国際的なスポーツ大会の遺産 (レガシー)／スポーツとSDGs (p.148), 感染経路／動物由来感染症 (ズーノーシス) (p.164), 予防接種／ユニバーサルデザイン (p.165), みんなの健康を守るための活動／保健機能食品／医薬品の使い方 (p.166), 熱中症とその予防 (p.184), 放射線と健康 (p.185) ● インターネットやデジタル教材を使って学習したことを広げたり, 深めたりすることができる「教科書サイト」を適宜設けている。  ➡ p.24, 33, 38, 39, 64, 86, 88, 90, 92, 99, 101, 104, 112, 125, 131, 140, 145, 148, 153, 159, 160, 162, 164, 166, 184 ● 口絵6「行って, 見て, 学ぼう」では, 学校や地域の実態に応じた指導ができるように工夫を促している (p.8～9)。

観点		特色：●／具体例：➡
創意・工夫	▶ 学習方法を明確化する工夫がなされているか。	● 巻頭に「さまざまな学習方法」を設け、学習内容や課題に応じて、工夫しながら学習が進められるように、事例とともにさまざまな学習方法を紹介している。 ● 各項目に「課題をつかむ」を設け、学習内容の明確化を図るよう工夫している。 ● 学習の見通しが立てやすい学年別構成を採用するとともに、授業時数を均等化し、学習内容が明確になるようにしている。
	▶ 学習を広げたり、深めたりするための工夫がなされているか。	● 学習内容の確認や追発問、説明をキャラクター「ウィズ」が随所で語りかける形式を用いて、学習を広げたり、深めたりすることを促している。 ● 教科書冒頭に、生徒が興味を持ちやすい口絵1「スポーツで世界を一つに」を設け、体育理論をはじめとした学習を広げやすいよう工夫している（前見返し～p.1）。 ● 各項目に「まとめ・深める」を設け、その時間で学習したことを深めたり、実生活に生かせたりするよう工夫している。
	▶ 生徒が自らの課題を見つけ、主体的に解決していくための工夫がなされているか。	● 章末に設定した研究課題（「探究しようよ！」）で、課題の例や学習の仕方を示すことなどによって、課題解決的な学習が展開されるようにしている。 ● 章末に自己評価欄を設けることで、生徒の内容理解に対する自己評価を助けるとともに、反復的・継続的な学習を行ったり、学習したことを日常生活に活用するために進んで取り組んだりすることができるようにしている。
	▶ 学校教育法との関連、特別支援教育につながる適切な配慮がなされているか。	● ユニバーサルデザインの考えに基づいて配色や色、フォント、紙色、表現などを精査し、誰もが見やすく、わかりやすくなるように配慮している。 ● 教科書バリアフリー法の趣旨に基づいて、拡大教科書を発行する。 ● 学校教育法の改正に沿い、デジタル教科書を発行する。 ● 従来よりも大きいAB判を採用し、紙面幅に余裕を持たせわかりやすく構成している。
現代的な課題や情報、社会の変化への対応	▶ 心の健康やいじめの問題については、どのように取り扱われているか。	● コミュニケーション、欲求不満やストレスへの対処を充実させ、呼吸法などのリラクゼーションの実習や、具体的な資料を取り入れている。➡ p.57, 60～67 ● いじめについては、口絵でもさまざまな相談窓口があることを示すなど、心の健康に関連した重要な現代的課題として適切に取り上げている。➡ 口絵 3, p.57, 65
	▶ 防災学習については、どのように取り扱われているか。	● 自然災害における安全の確保の内容を充実させ、過去の大きな災害から学ぶ教訓の形で展開している。また、日頃の備えとともに、自然災害発生時には、正確な情報を得ることが重要であることを学べるようにしている。➡ p.107, 116～121 ● 災害から身を守るための体力の必要性について取り上げている。➡ p.80
	▶ 新しい感染症の予防については、どのように取り扱われているか。	● さまざまな感染症について、正しい知識を身に付け、予防や回復について考えることができるようにしている。人権上の問題についても触れている。➡ p.152～155, 164
	▶ ICT 機器や SNS などの活用と情報モラルについては、どのように取り扱われているか。	● 性情報などに関連し、SNS を例に情報モラルについて考えられるようにしている。➡ p.53 ● 学習内容と関連させて、インターネットの安全な利用の仕方について取り上げている。➡ p.53, 130
	▶ 多様性の尊重や共生の視点を身に付ける内容については、どのように取り扱われているか。	● LGBT や SOGI に触れる（p.43）とともに、「性とどう向き合うか」（p.52～53）では「相手」という言葉を用いて、多様な性のあり方に配慮している。 ● ヘルスプロモーション（p.29）、「スポーツとSDGs」（p.148）や「保健体育の学習の終わりに」（p.188～189）など、健康の大切さを認識し、共生社会の実現に向けて考えることができる内容を取り扱っている。
	▶ 食育については、どのように取り扱われているか。	● 中学校生活と食事についての内容（p.6～7）や食生活と健康（p.32～33）の学習によって、興味・関心を持って学習することができるよう工夫している。
配列・分量・程度・資料	▶ 配列・分量・程度・資料は適切か。	● 学習指導要領で示された内容を基に、学年別で構成している。 ● 1 単位時間見開き 2 ページを基本構成とし、見通しを持って学習できるように配慮している。 ● 生徒の発達段階を踏まえ、身近な問題、自他の問題として取り組むことができるようにしている。 ● 資料は最新で信頼性のある適切なものを取り上げ、見やすく、活用しやすいように工夫している。
表記・表現・印刷・製本	▶ 表記・表現は適切か。 ▶ 製本様式は適切で、堅牢か。 ▶ 用紙やインキは環境に配慮しているか。	● 文章の表記・表現は、生徒に無理なく理解できる簡潔で平易なものとしている。 ● 本文や見出しなどの書体には、誰もが判別しやすいUD（ユニバーサルデザイン）フォントを使用し、読みやすさや生徒の発達段階を考慮している。 ● SDGs の実現に向けて、環境に配慮して作成された目にやさしい色合いの用紙、植物油インキを使用し、環境への負荷が小さいCTP方式で印刷している。 ● 製本はあじろ綴じで、特殊加工を施しており、3年間の使用に耐えられるように堅牢に仕上げている。

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	●保健体育科の目標、学習内容そのものであり、前述の観点別特色一覧で示したように教科書全体を編集している。[教科書全体] ●日本各地のスポーツ・健康・安全に関する施設や史跡を取り上げている。[p.8～9] ●各章の扉で学習内容に関連した人を紹介している。[p.15, 27, 43, 73, 85, 107, 137, 151, 169]
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	●スポーツ・健康・安全の分野で活躍する人を取り上げ、個人の能力の発揮や、生活と職業の関係を身近にしている。[p.2～3] ●心の健康では、個人の価値の尊重に関わるいじめの問題を鑑み、社会性の発達、自己形成、コミュニケーションに重点を置いている。[p.4, 54～67] ●学習内容に関連した職業や資格を各所で紹介し、職業と生活との関係を身近にするとともに、勤労の尊さに気づくようにしている。[教科書全体] ●保健・医療機関や健康を守るための活動の具体例を挙げ、公的に行われる職業の重要性を学べるようにしている。[p.160～161, 166] ●スポーツと人々を結び付ける働きを学習することで、他者を尊重する態度を養えるようにしている。[p.142～143]
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	●健康や生涯にわたるスポーツライフの実現のためには、みんなで助け合い、支え合うことが必要であることを基本的な編集方針として記述、構成している。[教科書全体] ●スポーツ・健康・安全の分野で活躍する人を取り上げ、自他の敬愛と協力を重んずる態度に気づくようにしている。[p.2～3] ●心身の発達と心の健康の学習を通して、かけがえのない自分に気づけるようにするとともに、他者を尊重する態度を養えるようにしている。[p.42～69] ●地域における防犯、防災の取り組みを「自助・共助・公助」の視点から取り上げている。[p.114～121] ●スポーツを支えるボランティアなどの重要性を学べるようにしている。[p.19, 22] ●スポーツに求められる社会性について学ぶことを通して、ルールやマナーを守ることや他者を尊重することなどの重要性に気づくようにしている。[p.75]
第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	●心身の発達と心の健康の学習を通して、かけがえのない自分に気づけるようにするとともに、生命を尊び、他者を尊重する態度を養えるようにしている。[p.42～69] ●健康と環境の学習を通して、環境を保全することの大切さを記述している。[p.168～185] ●野外スポーツの安全な行い方を学ぶ中で、自然を大切にすることを学べるようにしている。[p.79] ●スポーツと環境（SDGs）が関わっていることを学べるようにしている。[p.148] ●共に健康に生きる社会、人類と地球の未来について考える課題を通して、環境を保全することの大切さに気づくようにしている。[p.188～189]
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	●スポーツの魅力や価値を通して、他国を尊重し国際平和に寄与する態度を養うことができるようにしている。[前見返し～p.1] ●公害から学んだ教訓を世界の持続的な発展のために人類全体で共有する必要性に触れている。[p.182～183, 188～189] ●地震による被害に基づいた教訓として伝えられてきた「津波てんでんこ」を取り上げている。[p.121] ●医学の分野で世界的な業績を上げた大隅良典氏、本庶佑氏、大村智氏を取り上げている。[p.84, 102, 151] ●嘉納治五郎氏の発言を基に、日本の伝統的な心の習慣について学べるようにしている。[p.137] ●日本とオリンピック・パラリンピックについての豊富な資料で、スポーツを通じた国際平和への貢献を学ぶとともに、国際的なスポーツ大会の遺産（レガシー）などを通じて、我が国に誇りを持つことができるように工夫している。[p.144～148] ●共に健康に生きる社会、人類と地球の未来について考える課題を通して、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにしている。[p.188～189]

※この資料は、弊社ウェブサイト『学研 学校教育ネット』からダウンロードすることができます。